

● 今月の経営チェックポイント

- 源泉所得税(納期特例申請済の事業者方の場合は1月～6月分)の納付は7月10日までです。
- 所得税予定納税の減額承認申請は7月15日までです。
- 所得税予定納税第1期分の納付は7月31日までです。
- 固定資産税及び都市計画税第2期分の納付は7月31日までです。
- 労働保険の年度更新(概算・確定)申告・納付は7月10日までです。
- 社会保険の報酬月額算定基礎届の提出は7月10日までです。
- 7月、8月決算法人の方は、賞与等決算の対策の準備をして下さい。
- 祇園祭 山鉾巡行は、前祭りが7月17日(月)、後祭りが7月24日(月)です。7月10日～25日まで中京区・下京区の四条通り周辺において交通規制がありますので、お気をつけ下さい。

● 着眼点

「順風満帆(じゅんぷうまんぱん)」ということ

税理士 田中彰

国語辞典によると「順風満帆」とは、「追い風を受け、帆がいっぱい膨らむことから転じて、物事が順調に思い通りに進むことをいい、順風満帆な人生という風に使われる」とあります。人生や仕事において順風満帆が良いことには違いありませんが、この状態がずっと続くことは難しく、また長く続けば続くほど後の逆風が激しいと考えられないでしょうか。

政治の世界に目を向けてみると、最近の都議選で自民党は惨敗しました。これまでの安倍政権はまさしく順風満帆に見えていましたが、強気な政治手法がじわじわと国民の反感を買い、さらに自民党のエリート女性代議士が秘書を「このハゲ」と罵り、ニュースの話題をさらうなど決定的なイメージダウンとなりました。安倍政権に逆風が吹き始めたと言っても過言ではありません。

先のエリート女性代議士自身も優れた経歴の持ち主で、彼女のこれまでの人生は順風満帆であったのでしょうか。しかし、この一件により一瞬にして彼女の身に逆風が吹き始めました。順風満帆は何事においても永続するものではなく、しかも長ければ長いほど反動は大きく見えます。企業経営において、業績の良い時に引き締めを求められる所以です。

結局、順風満帆であり続けることは出来ないかもしれませんが、一方で逆風は悪いことなのでしょうか。鹿児島民謡「串木野さのさ」の一節に「落ちぶれて袖に涙のかかるとき人の心の奥ぞ知る」という一節があります。実は私は昔から大切にしている好きな一節です。また、紀伊国屋文左衛門は嵐の中、江戸へ向けて紀州みかんを運び、富を得たというエピソードがあります。

結局、順風満帆の時には未来の危機が存在し、逆風の時には未来へのチャンスがあります。逆風を人生や経営に活かすことが重要だと思っています。

● 長期優良住宅化リフォームに係る所得税額の特別控除

個人が自分の居住の用に供する家屋について一定の耐震改修工事又は一定の省エネ改修工事と併せて行う一定の耐久性向上改修工事を行った場合、工事費相当額の10%をその年分の所得税から控除する特例を受けることができます。

*適用を受けるための主な要件

1. 工事を行った者が主として居住の用に供する家屋である事
2. 工事完了から6ヶ月以内に居住の用に供する事
3. 床面積が50㎡以上である事
4. 店舗等併用住宅の場合は、床面積の1/2以上が居住用である事
5. 合計所得金額が、3,000万円以下である事

適用期限は平成29年4月1日～平成33年12月31日

一定の工事については、国土交通省のHPに詳しく記載されています。また特別控除を受けるためには工事等の証明書や契約書、登記事項証明書等を添付の上、税務署に確定申告が必要となります。

(文責 田中 恵子)

● 親心をくすぐられる経験から

日々、様々な業種のお店で、割引等のクーポンを渡されます。

先日、ファーストフード店で、子供自身がクーポンを持って行くと、ミニデザートがもらえるという1枚のクーポンをいただきました。

いつもはやんちゃな我が子が、緊張気味で店員の方にクーポンを渡す姿を見守るというイベント性があり、親子で楽しめるひと時でした。

子供はその後もお店に行きたがります。販促の対象は限定的ですが、大きな費用をかけず、付加価値のついた上手な販促活動をされていると感じました。

私の以前勤めておりました外食関連の会社では、販促や店舗の業績についての会議において、アイデアを絞り、独自で検討する難しさとともに、店舗の計数管理をする上で、数字を追いかけて試行錯誤し、社内で目標を共有しながら業績アップを目指していくといった勉強をさせていただきました。

しかし現在、飲食業に限らず、新しいアイデアが溢れ、ブームもどんどん変化し、うまく商売につなげていくことは非常に難しいという印象を受けます。今は、皆様の事業の状況を数字に表し、経営に必要な短期・長期に渡る情報を作成する仕事をさせていただいております。スピード感を持って取り組まなければならないと感じております。

(文責 井上 友佳子)

● 今年の祇園祭

運転中にラジオを聞いておりましたら、今年の祇園祭では珍しい光景が見られるとのこと。なにになにと耳を傾けておりますと、鶏鉾と函谷鉾が約50年振りに対面したとのこと。四条烏丸にあった京都産業会館が立替工事中で、解体されている為です。来年は新しいビルが建つ予定だそうなので、この光景は「今年だけ」のようです。

ラジオでは、昔のような光景だと語る方もいらっしゃったという事ですが、50年前は今のよう高いビルも多くなかったでしょうし、どのような風情だったのでしょうか…。

(文責 渡辺 晶子)